尿酸測定用 JCCLS 認証標準物質

JCCLS 021-1
認　証　書

■ 認証値および不確かさ

本尿酸測定用 JCCLS 認証標準物質 JCCLS 021－1 の認証値および不確かさは以下の通りである。

温度 25℃

Lot. No. （レベル）	認証値（mg/dL)	拡張不確かさ（mg/dL)
JCCLS 021－1M (中濃度)	4.342	0.010
JCCLS 021－1H (高濃度)	7.496	0.017
JCCLS 021－1HH (異常高域)	10.715	0.028

不確かさは ISO の指針（GUM）に従って、実験誤差成分に均質性を含めた総合的な拡張不確かさ（95%信頼水準、包含係数 k=2.2）として示した。μmol/L による認証値及び不確かさは、1M が 258.3±0.6、1H が 445.9±1.0、1HH が 637.4±1.7 である。

■ 認証値の測定方法

本標準物質 JCCLS 021－1 の認証値は同位体希釈質量分析法により測定した。

測定は有限責任中間法人 HECTEF スタンダードレファレンスセンター(技術管理者：谷　渉)で実施した。

■トレーサビリティーの確認

SI 単位へのトレーサビリティーは尿酸 NIST SRM 913a（純度 99.6±0.1%）を基準として、同位体希釈質量分析法で測定することにより確認した。また、標準液及び測定試料の調製には、JCSS（計量法校正事業者認定制度）の認定事業者により不確かさが付与された天秤を使用した。

■認証値と JSCC（日本臨床化学会）勧告法の測定値との比較

本標準物質を JSCC 勧告法である過塩素酸除蛋白後、HPLC 法によりスタンダードレファレンスセンターで測定した。その結果によれば、JSCC 勧告法の測定値は同位体希釈質量分析法の認証値よりも相対値で約 1%高くなった。

■ 使用目的等

使用目的、保存方法、有効期限については取扱説明書、文献は参考資料にそれぞれ記載。

■ 認　証　日

2005 年 2 月 24 日

■ 認証責任者

日本臨床検査標準協議会　認証委員会

委員長　　桑　克彦

■製造・測定責任者

有限責任中間法人 HECTEF スタンダードレファレンスセンター

センター長　　梅本　雅夫

・事前の承認なしにこの認証書の一部分のみ複製して用いてはならない。